

令和7年度 学年学習室及び校内フリースクールの開設要綱(案)

1 目 的

- 集団生活する中で困り感を抱えている生徒や登校できても教室に居づらい生徒のセカンド、サードプレイスとしての居場所をつくり、安心して学校生活を送ることができるようにする。
- 担当する職員を配置し、集団生活する中で困り感を抱えている生徒への支援を行い、自己肯定感や自己有用感を高めていくことができるようにする。

2 目 標

- (1) 学習支援や教育相談・人間関係づくりなどに個別に対応をしていくことで、本人の自己存在感を高める。
- (2) 様々な活動を通して、自分の得意なことや苦手な事を見つけ、得意なことを強みにできるような支援を図り自尊感情を育み自己肯定感を高める。
- (3) 登下校や教室での過ごし方について、他者と相談したり自分自身で考えたりすることで、コミュニケーション能力を育むことや自己決定能力を高める。

3 運営及びについて

(1) 校内フリースクールでの共通項目

- ① 学習支援・コミュニティづくり・教育相談
- ② 通常日課内の時間とする ※1
- ③ 個々のプログラムの作成 ※2

※1 原則、学習室は通常日課で行う。

フリースクールは8:05～15:30(14:30)までの間で生徒や保護者との話合いで活動する。

(入り口については7:50頃解錠)

※2 フリースクールの生徒の個々のプログラムについては、面談を元に学年職員や担任、教育相談コーディネーターなどの助言を元に作成していく。

また、状況により教育支援センター(旧 適応教室)や民間フリースクールとも打ち合わせを行い作成する。

- ④ 学習室については、原則、学年職員が中心となり、併せて不登校支援職員と情報交換を行いながら運営をしていく。
- ⑤ 校内フリースクールは、原則、不登校支援職員が対応していく。
- ⑥ 教室環境等については、できるだけ生徒とともに作り生徒の自己存在感を高めていく

(2) フリースクール わかば

- ① 学習室「わかば」の教室内に、個別ブースを設ける。(学習室は1つに統合する)
- ② 日課表を自分で作る。(1日でも、一時的でも)担任は、1日の振り返りを確認しコメント等を記入する。
- ③ 開設日は、原則 月・水 8:05～14:30 火・木・金 8:05～15:30 とする。放課後は開設しない。
- ④ オンライン授業に取り組むことを前提とするが、精神的に落ち着かないときは状況に応じて休息できる。
- ⑤ 状況に応じて、個別ブース・協働ブース・自己の座席を使い分けてよい。
- ⑥ 学年職員を配置し、学習補助及び教育相談などを行う。
- ⑦ 学習室を利用するに当たっては、その中で係活動などに積極的に取り組ませ自己有用感を高める工夫をして行く。

(3) フリースクール サンルーム

- ① 校内フリースクールは名称「Sun Room(サンルーム)」とする。
- ② 登下校は、東棟パソコン室脇の出入り口から行うことができる。(自転車もパソコン室前に駐輪することが可能である。) 送迎についても東棟パソコン室前の門から出入り可能である。
- ③ 開設日及び日課は、原則 月・水 8:05～14:30 火・木・金 8:05～15:30 とする。
- ④ 放課後は開設しない。
- ⑤ 昼食を取ることも可能である。(給食または弁当持参)
- ⑥ 自分でその日に何を学ぶかを定める。それは、教科の学習に限定しない。また、時間は状況に応じてフレックスにできる。